

新

緩み止めナット(SPN)開発中

2016年6月メーカー・商社様向けサンプル出荷予定

【特許出願中】

SPN-M16 3次試作品



構造概略は開発中につき、
もうしばらくお待ちください

SPN-M16 2次試作品での試験



NAS3350振動試験後
マーキング ズレなし

【採用利点】

・普通ナットと同一作業で抜群の緩み止め効果を発揮

手で着座直前まで締められます。

最後は工具で締付ける事で、緩み止め効果を発揮。

○ダブルナットタイプと比較して 作業時間半減

○フリクションリングタイプ(例:SSN)と比較して 約30%減

・締付けトルクも普通ナットと同一

例) SPN-M16 96.7[N・m]

《参考資料》山本晃(2007)『ねじ締結の原理と設計』養賢堂

・米国航空規格NAS3350規格に準拠した衝撃型振動試験機を

クリア <所内試験後写真左:マーキングにズレなし>

2016年5月頃 社外第3者機関にて、先行量産品にて試験予定。

・対応サイズ:M8・M10・M12・M16・M20

サンプルのご要望 ・お問い合わせにつきましては、弊社ホームページ より
ご連絡下さい。

※サンプル品は数量に限りがあります。サンプル送付にあたり、ご意見頂戴するためアンケートを
同時に送付させていただきます。

以下の場合には既存SSNをご利用下さい。

①中間止め・トルク30[N・m]以下の締付け

②回転バランスが重要な機器

②木材・樹脂など、経年変化で肉痩せする場合 など

既存のスーパースリットナット(SSN)も継続販売します。

NKE
inc.